

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部クリーン推進課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	緑化木保全事業(啓発、防除機貸出し)			
■評価事業コード	030300 - 118	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	01 快適な住環境の整備		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	樹木等を病害虫から守り、緑豊かな街並の保全。アメンロ発生に対する警戒と早期自主防除のためのチラシの配布等広報活動及び噴霧機の貸出し。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	緑化木保全事業(啓発、防除機貸出し)	市民、事業所		噴霧器の貸し出し 41件 6月～9月の病害虫発生時期貸し出し 市所有台数は4台

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費					
人件費		900	1,054	157	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		900	1,054	157	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	貸出し件数		7件	20	41	防除機貸出では機械操作や薬剤、燃料など個々に用意する必要があるため、ある程度利用者は限られる。
03	現在の噴霧器(12台)が使用に耐えなくなったときに貸出し事業を終える。指標なし。					

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

アメリカシロヒトリが大量発生したことも一因だが、広報・回覧・ホームページ等で多角的に周知したため、貸出件数が伸びた。

問題点・課題等

平成25年度より、和賀庁舎で防除機を管理している。このため、和賀町在住以外の市民にとって借りにくい。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

市民の自助を促すという面では効果的な施策であり、それに係るコストも低廉である。しかし、課の移転により利用者にとって借りにくくなったこともあり、平成25年度以降について、現行のままでは貸出件数は伸びないことが予想され、貸出1件あたりに係るコストが相対的に上がると考えられる。